

見せる！ 参加する！

道後温泉本館保存修理工事見学会を開催

令和2年10月24日、道後温泉本館保存修理工事の見学会に参加してきました。

本館内部の構造などは工事中の今だけ見ることができます。本当に貴重な体験でした。

ピンチはチャンス！

よしみは保存修理工事を今しかない観光資源と捉え、議会質問を通じて「見せる保存修理工事」「参加する保存修理工事」を提案していました。

ちなみに、道後温泉本館は工事が進行中ですが、元気に営業しています。もちろん入湯もできます。



きれいに改修された旧神の湯女子浴室を視察する吉富市議（左端）

見学会では、道後温泉本館改築の歴史や、修復中に本館を雨から守るため、高さ約20mの素屋根が設置された様子を映像で見た後、配管が改修され、きれいになった「南棟」1階の旧神の湯女子浴室を見学。さらに、霊の湯休憩室の土壁を塗り替える作業の一般公開で、参加者は左官職人が手際よく均一に塗っていく匠の技に見入っていた。案内した専門家は、「当時の壁

保存修理工事中

松山市

昨年1月から耐震化を含めた保存修理工事が進められている道後温泉本館（愛媛県松山市）。市は、工事中でしか見ることができない同本館の魅力を発信するため、専門家が解説しながら館内を案内する見学会を開催している。道後温泉街の観光振興に取り組んできた公明党の吉富健一市議はこのほど、見学会の様子を確認した。

道後温泉本館の見学会

今しか見られない魅力 発信



素屋根が設置された道後温泉本館

は下地の上にしつこく塗られており、今回も当時と同じ工法で再現している」と説明した。

続いて、「又新殿・霊の湯棟」で、葺き替えられたばかりの銅板の屋根を見て

回り、約3000枚の銅板を屋根の形に合わせて職人が丁寧に葺き替えた様子が紹介された。見学会に参加した矢吹園美さんは、「以前から興味があり、ぜひ参

加したいと思っていた。工事中の貴重な館内を見ることができて、さらに道後温泉本館が好きになった」と感想を話していた。

道後温泉本館は、四つの建物からなっており、最も古い北側の「神の湯本館棟」は1894年の完成。「又新殿・霊の湯棟」が1899年、1924年に「玄関棟」と「南棟」が増築されている。

解体工事を進める中で、これまで分からなかったことが、次々と明らかになっている。「玄関棟」の北側は、大正時代の1924年に建設されたことが分かっていたが、南側は不明だった。

道後温泉街の山下勝義活性化担当課長は、「工事の進捗よく状況に合わせて見学コースも変更することにしており、その時で見ることができない本館の魅力が堪能してほしい」と語っていた。

た。今回の工事で天井裏に「昭和貳拾八年拾月拾七日」との鉛筆書きが発見され、1953年頃に完成したことが判明した。また、明治時代の材料が使われていることを示す墨書きや、以前使用されていた階段跡などが発見された。

この見学会への参加は、事前の申し込みが必要で、応募者が多数の場合は抽選となる。今年度はすでに第3回まで開催しているが、いずれも15人程度の募集定員に対し、2〜3倍の応募があった。

同本館工事の魅力発信については、公明党の吉富市議が2014年9月と17年9月の定例会で、観光振興の観点から市民参加型や工事そのものを見せるイベントの開催を要望するなど、推進役を果たしてきた。道後温泉事務所の山下勝義活性化担当課長は、「工事の進捗よく状況に合わせて見学コースも変更することにしており、その時で見ることができない本館の魅力が堪能してほしい」と語っていた。

専門家が当時の工法など説明



(3)参加する 道後温泉本館保存修理工事について
① 道後温泉本館保存修理工事に当たっては、市民参加型の「参加する保存修理」としてはどうか。

<平成29年9月定例会一般質問の内容>
3. 道後温泉活性化について
(2)道後温泉本館の工事中ならではの魅力について



<平成26年9月定例会一般質問の内容>
2. 道後温泉の活性化について
(2)「見せる」道後温泉本館保存修理工事について
① 「見せる保存修理」については具体的にどのように考えるか。

